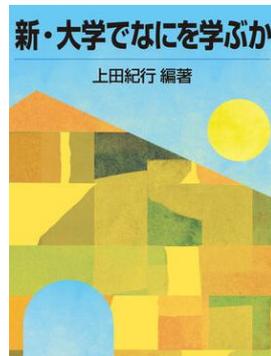


## 大学で「何を」学ぶか、「どう」学ぶか? ①

前号の図書館通信で、「新書大賞」の受賞作品を紹介しました。その中で新書の目的は「教養」を読者に提供することと記しました。教養とは、『広辞苑』で意味を確認すると、「学問・芸術などにより人間性・知性を磨き高めること」とされます。そうした教養は、私たちにとって、どんな意味があるのか。上田紀行編『新・大学でなにを学ぶか』(岩波ジュニア新書、2020年)の中で、次のような文章を目にしました。一つは、教養を深めることで、「論理的に分析する力」や「説得力をもって人に様々な可能性を伝える能力」を身につけられる。もう一つは、教養は「平穏な日常では役に立たない」が、人生上の危機・失敗などを経験した時、そこから立ち直るための「大切な言葉やメッセージ」を受け取ることができるようにする、とのこと。教養はやはり、私たちの生き方をよりよくするためのものと言えるでしょう。そして、本書では、教養は読書を通じて育まれると述べられています。



本書は、東京工業大学の「リベラル・アーツ教育」を担当する14名の教員が寄せたエッセイ集です。「大学での学び」において最も大切と考えることを、それぞれの教員が自身の経験に基づいて書いています。その前提となる「大学での学び」自体は、次のように記されています。「大学での学びは、これだけが正しいという答えも結論もない、人間にとって根本的な問いについて考えることです。つまり、「探究」することです。そのためには、自ら行動を起こし、人や世界と出会い、そこから聞こえてくる喜怒哀楽の声に耳を傾けてください」。やや抽象的なまとめとなってしまいました。だからこそ、本書を読んで、「大学での学び」に関する具体的なイメージをつかんでもらいたいと思います。



同じようなテーマを扱っている本はたくさんありますが、皆さんに紹介したい本が、もう一冊あります。永守重信『大学で何を学ぶか』(小学館新書、2022年)です。著者は、精密小型モーターの開発・製造を手がける日本電産(現・ニデック)の創業者で、学校法人永守学園の理事長を務めています。中学・高校生を主な読者層と想定している本書で、永守は実践的で、戦略的な視点から、大学の選び方、大学での学び、社会人としての生き様などを論じています。自身のエピソードもたくさん記されており、とても楽しく読めます。

本書の大きな特徴は、経営者ならではの、徹底した合理的な発想です。「自分は将来、どんな人になりたいか、何をやりたいか」というゴールを実現するために、自分の進みたい大学(・学部)を選ぶ必要がある。そして、大学では、「専門性」、「英語力(特に会話力)」、「雑談力」、「ディベート力」の4つの力を徹底的に鍛えるべきであり、そのためには、「自分から広い世界に出ているいろいろなことを体験し、多様な人と話をすることが大事」と主張しています。やや精神論的な嫌いもありますが、著者の経験に裏打ちされた人生上のアドバイスは、若い読者にとって十分な励みとなるでしょう。

上田編と永守著を読み比べると、「学びの場」としての大学の位置づけを強調したり、主体的な行動の重要性を訴えたりするなど、重なる内容が多いです。しかし、上田編が大学時代を「4年間もある」と認識しているのに対して、永守著は「4年間しかない」と捉えているように感じます。この時間感覚の違いが、大学で学ぶ「何を」の中身を変えるのではないかと思います。上田編の教養志向的な学びか、永守著の実学志向的な学びかです。皆さんは、どちらの立場にシンパシーを覚えるでしょうか。



# 新着図書案内 <その1>



## 【B081 文庫本】

- \* チア男子！！ 朝井リョウ著 集英社
- \* 本からはじまる物語 阿刀田高他著 KADOKAWA
- \* 相棒；警視庁ふたりだけの特名係  
相棒 season 1 / 2 上 / 2 下 / 3 上  
碓卯人 朝日新聞社
- \* シーソーモンスター 伊坂幸太郎著 中央公論新社
- \* フーガはユーガ 伊坂幸太郎著 実業之日本社
- \* パラソルでパラシュート 一穂ミチ著 講談社
- \* 変な家 雨穴著 飛鳥新社
- \* 零；女の子だけがしかかる呪い 大塚英志著 KADOKAWA
- \* 「朝2分」ダイエット 大庭史椰著 三笠書房
- \* 海の見える理髪店 荻原浩著 集英社
- \* 家日和 奥田英朗著 集英社
- \* 謎解きはディナーのあとで 風祭警部の事件簿  
黒岩勉著 小学館
- \* Xの悲劇／Yの悲劇／Zの悲劇  
エリー・クイン著 東京創元社
- \* ないもの、あります クラフト・イング 商會著 筑摩書房
- \* そして誰もいなくなった アガサ・クリスティ著 早川書房
- \* 小説 君の名は。 新海誠著 KADOKAWA
- \* ぼくの家族はみんな誰かを殺してる  
ペンジャミン・ステイヴンソン著 ハーパー・コリンズ・ジャパン
- \* 真田丸と真田一族 99 の謎  
戦国武将研究会著 二見書房
- \* 家族シアター 辻村深月著 講談社
- \* きのうの影踏み 辻村深月著 KADOKAWA
- \* 僕らはまだ、恋をしていない！  
中村航著 角川春樹事務所
- \* キネマの神様 原田マハ著 文藝春秋
- \* 鳥人計画 東野圭吾著 KADOKAWA
- \* ナミヤ雑貨店の奇蹟 東野圭吾著 KADOKAWA
- \* 魔球 東野圭吾著 講談社
- \* 白薔薇殺人事件 クリスティン・ペリン著 東京創元社
- \* 本当はずっとヤセたくて。自分のために、できること  
細川貂々著 幻冬舎
- \* 未来 湊かなえ著 双葉社
- \* 新版 銀河鉄道の夜 宮沢賢治著 新潮社
- \* 出会いなおし 森絵都著 文藝春秋
- \* 家族の言い訳 森浩美著 双葉社
- \* ぶたぶたのお引越し 矢崎存美著 光文社

## 【S081 新書本】

- \* 大人になるっておもしろい？ 清水真砂子著
- \* 「空気」を読んでも従わない 鴻上尚史著
- \* AI の時代を生きる 美馬のゆり著
- \* 食べものから学ぶ現代史 平賀緑著
- \* 野生生物は「やさしさ」だけで守れるか？  
朝日新聞取材チーム著
- \* もしもハチがいなくなったら？ 横井智之著
- \* てっぱく発 鉄道物語 荒木文宏・奥原哲志著  
(以上 岩波ジュニア新書)
- \* 世界の貧困医に挑む；マイクロファイナンスの可能性  
慎泰俊著
- \* 学校の戦後史 新版 木村元著

- \* 歴史のなかの貨幣；銅銭がつかない東アジア 黒田明伸著
- \* 東京美術学校物語；国粹と国際のはざまに揺れて  
新関公子著
- \* ヒトとヒグマ；狩猟からクマ送り儀礼まで 増田隆一著  
(以上 岩波新書 新赤版)
- \* 明智光秀 10 の謎 本郷和人・細川珠生著 (宝島社新書)
- \* 歴史学はこう考える 松沢裕作著 (ちくま新書)
- \* 東大生と学ぶ語彙力 西岡壺誠著
- \* 「みんな違ってみんないい」のか？ 山口裕之著
- \* 「人それぞれ」がさみしい 石田光規著
- \* 「自分らしさ」と日本語 中村桃子著  
(以上 ちくまプリマー新書)
- \* 三井大坂両替店；銀行業の先駆け、その技術と挑戦  
萬代悠著
- \* 日ソ戦争；帝国日本最後の戦い 麻田雅文著
- \* 就職氷河期世代；データで読み解く所得・家族形成・格差  
近藤絢子著  
(以上 中公新書)
- \* 「右翼」雑誌の舞台裏  
梶原麻衣子著 (星海社新書)

## 【000 総記】

- \* すぐに使える言葉の雑学  
エンサイクロネット著 PHP 研究所
- \* 電車の中の迷惑なヤカラ図鑑  
大崎メグミ著 東京書店
- \* 雑学うんちく図鑑 ケン・サイトー著 KADOKAWA
- \* A 型の自分説明書／B 型の自分説明書／A B 型の自分  
説明書／O 型の自分説明書  
Jamais Jamais 著 文芸社
- \* ずっと信じていたあの知識、実はウソでした！  
トキオ・ナレッジ著 宝島社
- \* ブリタニカ国際年鑑 2025 年版  
青木聡・高橋良子編 ブリタニカ・ジャパン
- \* 現場発 災害時に子どもを支える；私に、あなたにできる  
こと 伊藤駿・中丸和著 岩波書店
- \* 知っておきたい！公職選挙法  
井戸まさえ・三村和也著 岩波書店
- \* 性格診断ブームを問う；心理学からの警鐘  
小塩真司著 岩波書店
- \* 近藤誠一全集 VII 近藤誠一著 かまくら春秋社

## 【100 哲学】

- \* ホンネがわかる心理テスト 前田京子監修 西東社
- \* 感情の生理ができる女は、うまくいく  
有川真由美著 PHP 研究所
- \* はたらく言葉たち ①・④  
パラドックス編 パラドックス・プランディング
- \* 苦しかったときの話をしようか；ビジネスマンの父が我が子のために書きためた「働くことの本質」  
森岡毅著 ダイアモンド社